

おおいぬ座

シリウスまでの距離は 8.6 光年。太陽系から近い恒星の順でも上位に入る距離です。おおいぬ座は、シリウスをはじめとして明るい星々が見事に犬の形に なっています。

古代より、シリウスは単独で注目されていた星でした。おおいぬ座の形が 作られてきたのはそれよりも後のことだと考えられています。おおいぬ座の犬はオリオンの 獵犬とかイカリオス王の忠犬メーラとか、様々な伝説が残っています。ここでは、月と狩りの女神アルテミス の侍女プロクリスが飼っていた名犬レラプスのお話を 紹介します。

あるとき大きなキツネが出没して家畜などに被害を出していました。この大ギツネ は風のようにすばしこく逃げ回るので誰にも捕まえることができませんでした。困った 人々はプロクリスが女神アルテミスから譲り受けた名犬レラプスなら悪い大ギツネ 退治ができるのではないかと考え、キツネ退治を頼みます。レラプスは大ギツネ を追い詰めますが、大ギツネはひらひらりと身をかわして逃げ回り、お互いにくる

ぐる輪を描いて回るばかりで、決着が付きませんでした。これを天界から見ていたゼウスは、この二匹のすばらしい動物たちがお互いに傷つけ合 うことを恐れ、二匹を石に変えてしまいました。そして、後にレラプスは天に上げられ、星座になったということです。

<参考> ・「藤井旭の星座と星座神話(冬)」藤井旭(著)：誠文堂新光社

今月の見どころ星どころ

しぶんぎ座流星群

3 大流星群の 1 つですが、最も多くの流星が流れる(極大)時間が短く、年によって見え方が大きく 変わります。極大時刻は 4 日の 18 時頃と予想されていますが、この流星群のおすすめの観測時間は、 放射点が上がってくる真夜中ごろから放射点が高くなる夜明け前までです。今年は、日付が変わるこ ろに昇ってくる月があり、条件としてはあまりよくありません。この流星群は、極大時刻も出現数も 年により大きく変動するので、活発に出現するかどうかは、見てみるまでわかりません。

2024 年の天文現象	
月	◇ 最も大きい満月 10月17日 ◇ 最も小さい満月 2月24日
流星群	◇ しぶんぎ座流星群 1月4日 ◇ ペルセウス座流星群 8月12日 ◇ ふたご座流星群 12月14日
彗星・惑星	◇ 紫金山-アトラス彗星 10月13日前後 最接近 ◇ 土星食 12月8日
こよみ	◇ 伝統的七夕 8月10日 ◇ 中秋の名月 9月17日



1月4日 午前3時頃

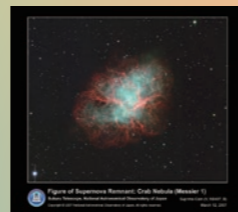
黄色の十字が放射点。流星は放射点の周囲だけではなく、放射点 を中心として空全体に出現します。画像の流星はイメージです。 この通りに出現するわけではありません。

文・浜松市天文台
喜澤 俊輔



星空クイズ

おうし座には M1 という天体があります。今から およそ 970 年前の 1054 年に超新星爆発を起 こした天体の残骸です。実際に爆発があったとさ れる記録が日本や中国に残っています。(この超 新星については鎌倉時代の歌人、藤原定家の日 記「明月記」に木星ほどの明るさの見えない 星が現れて輝いていたと書かれています。)星の 残骸が飛び散る様子が、ある生き物の足のよう に見えることから〇〇星雲と命名されました。



(C) 国立天文台

- A. かに
- B. わに
- C. うに

答えは中面へ

星空案内

浜松市天文台と浜松科学館がお届けする今月の星空情報

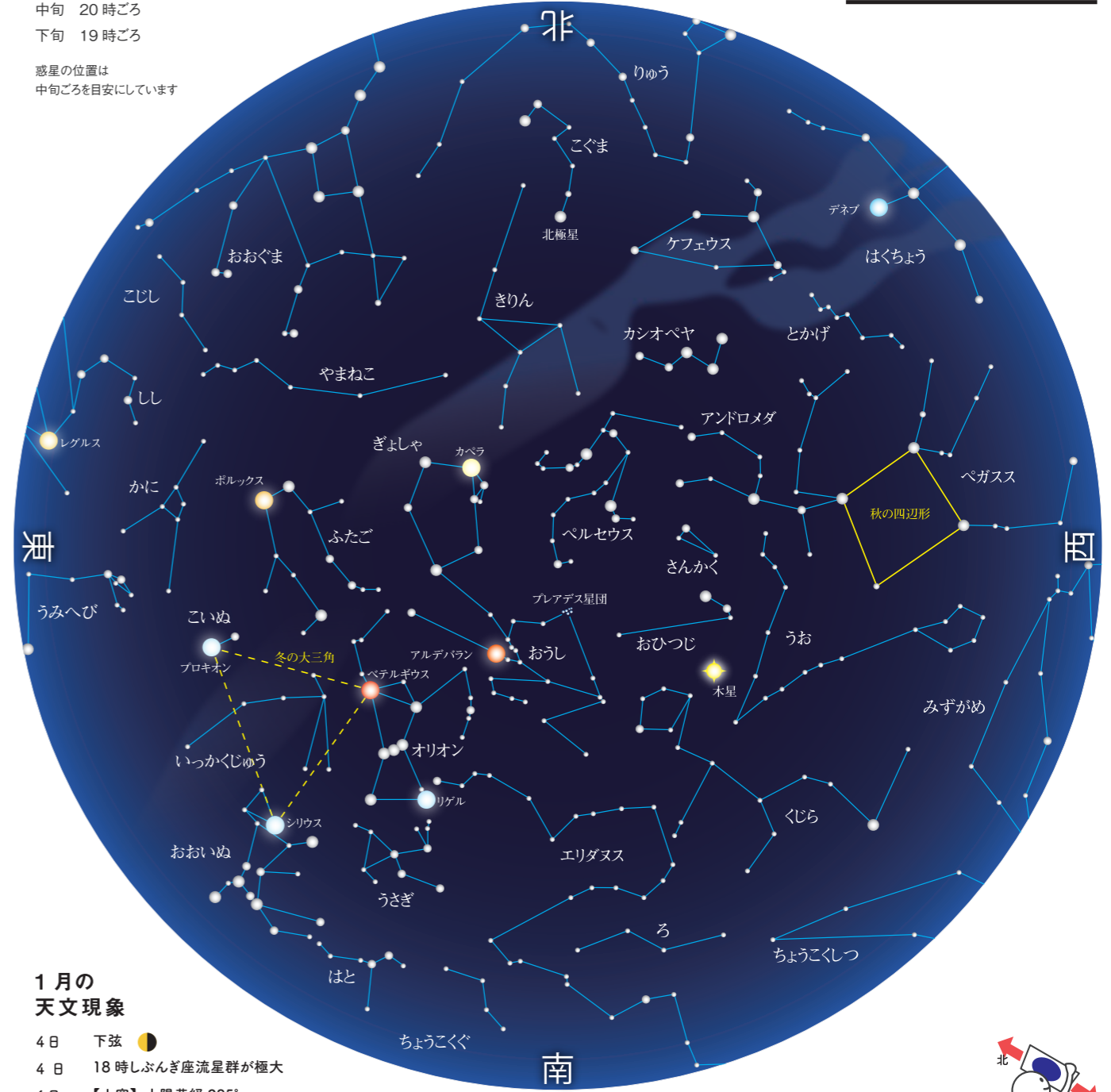
2024 年 1 月

上旬 21 時ごろ

中旬 20 時ごろ

下旬 19 時ごろ

惑星の位置は
中旬ごろを目安にしています



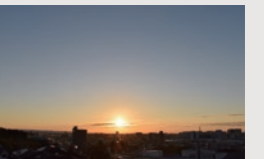
1 月の 天文現象

- 4日 下弦
- 4日 18時しぶんぎ座流星群が極大
- 6日 【小寒】太陽黄経 285°
- 11日 新月
- 18日 上弦
- 20日 【大寒】太陽黄経 300°
- 26日 満月

上の星図は、空にかざして 実際の方角と合わせてご覧ください。



元旦に太陽が昇ることを「初日の出」と呼びますね。初日の出を拝み、目標を立てて新年を気持ちよく迎える。 いいですね。あまり意識をしていないかもしれませんが、天体と共に新年をスタートしているということです。 力強く輝く太陽も、きらきら輝く冬の星空たちも、きっとみなさんに力をくれるはずですよ。今年もよろしくお願 いいたします。



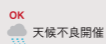


浜松市天文台

イベント情報

催しはすべて事前予約制となります。浜松市天文台ウェブサイトよりお申し込みください。

ウェブサイトはこちら



1/6・13
20・27
土

星空観望会 宇宙へのとびら in はままつ

季節の星座、星雲・星団、月、惑星などを観望します。

- 時間 18:30 ~ 20:30
- 会場 天文台屋上
- 申し込み 開催日 3 日前の水曜 13 時から受付 (30 分ごと先着 20 組) ※1/6 の申し込みは 12/27 13 時から受付

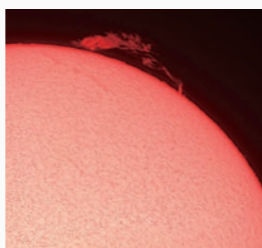


1/7
日

太陽・昼間の星観望会

黒点、プロミネンスなど太陽が活動する様子や、昼間に見える天体を観望します。

- 時間 14:00 ~ 16:00
- 会場 天文台屋上
- 申し込み 12/27(水) 13 時から受付 (30 分ごと先着 20 組)



1/7
日

メシエウォーキング

高感度ビデオカメラ (CMOS) を使って 電観望を楽しみましょう。 撮影したメシエ天体のデータはおみやげにどうぞ。

- 時間 19:00 ~ 21:00
- 会場 天文台屋上
- 申し込み 12/27(水) 13 時から受付 (先着 10 組)



1/18
木

スマホ de ムーン

スマホのカメラで月を撮影します。 月面に浮かび出る「X」をねらいましょう。

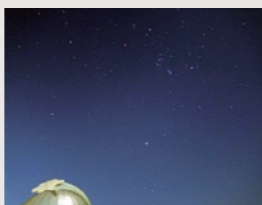
- 時間 19:00 ~ 20:00
- 会場 天文台屋上
- 申し込み 1/10(水) 13 時から受付 (30 分ごと先着 10 組)



裏面のクイズの答え：A

星空を楽しむ

私は、オリオン座が好きです。形が整っていて見つけやすいからです。初めて自分の目で確認できた星座はオリオン座で、小学生の時だったと思います。当時、私は部活動でミニバスケットをやっていました。小学校でも毎日部活があり、遅くまで練習をしていました。部活を終えて帰るころには暗くなっていて、友達とオリオン座を見ながら帰ったことを覚えています。練習はちょっと厳しくて大変だったけれど、楽しかったミニバスと毎日一緒に帰った友達の思い出が星座です。そのときにミニバスを熱心に教えてくれた先生には、大人になっても会うことができたので、また思い出することができました。(オリオン座の話はしていませんけど) 友達とは今でも仲良しです。冬の星座は見ごたえのあるものが多いです。ちょっと寒いですが星空を見上げてみてください。誰かの思い出に残る星座があるとうれしいです。



浜松市天文台会 喜澤 俊輔



浜松科学館

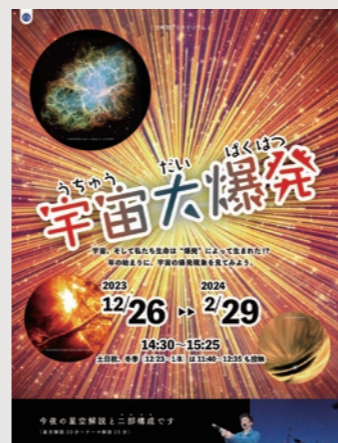
プラネタリウム番組情報

解説員が星空をライブ解説する「生解説プラネタリウム」と臨場感ある「大型映像」をお楽しみいただけます。

blog



生解説プラネタリウム



宇宙大爆発 NEW

宇宙、そして私たち生命は“爆発”によって生まれた！? 年の始まりに、宇宙の爆発現象を見てみよう。

12/26~2/29 14:30~15:25
土日祝・冬季※は 11:40~12:35 も投映

※冬季…12月23日~1月8日 (12/29~1/3は年末年始休館)

キッズプラネタリウム



すぐにみつける! オリオンざ NEW

今夜、オリオン座はどこに見えているかな? おうちの人と一緒に探してみよう! 宇宙旅行にも出発!

12/26~3/17 10:30~11:10
土日祝・冬季※のみ投映

大型映像



銀河鉄道の夜

15:50~16:40

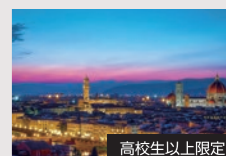


海竜王 モササウルス

制作・配給: D&D ピクチャーズ
制作協力: NHK エンタープライズ/映像提供: NHK

土日祝・冬季※のみ上映 13:15~13:55

夜の科学館 特別投映



海外の星空 (イタリア)

日本では見ることができない星空をご紹介します。海外旅行気分でお楽しみください。

1/12 18:50~19:45

過去を見上げて

新年早々、“過去を振り返る”ということはしたくないかもしれませぬ。しかし、夜空を眺めることは、過去を振り返ることと同じようなものなのです。

寒い日は、日が差す場所を探して歩きたくりますね。太陽はこんなにも暖かいものかと、その恵みに感謝する瞬間でもあります。この時、私たちは“過去の光”を浴びているのです。地球から太陽までの距離は約 1 億 5000 万 km です。太陽から放たれた光は、この距離を秒速 30 万 km で進み、およそ 8 分 20 秒後に地球に届きます。この世で一番速く進むといわれる光でも、それほど時間がかかってしまいます。こうしたタイムラグにより、私たちは常に 8 分 20 秒前に太陽から放たれた光を浴びているということになるのです。

太陽と同じ恒星の 1 つで、ベテルギウスという星があります。オリオン座の赤く輝く 1 等星です。赤い星は、いわばお年寄りの星で、いつ寿命を迎えてもおかしくない星だといわれています。重い恒星は寿命が訪れると爆発をしますが、もし今、ベテルギウスが爆発をしたとしても、私たちは同じ瞬間にそれを知ることはできません。ベテルギウスは約 530 光年離れたところで光っているため、その光

[参考]

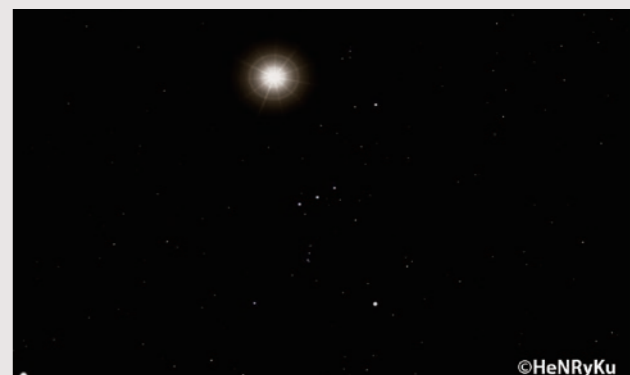
・Kavli IPMU カブリ数物連携宇宙研究機構 <https://www.ipmu.jp/ja/20210204-Betelgeuse>
・sorae <https://sorae.info/astrometry/20201019-betelgeuse.html>

column

文・浜松科学館 天文チーム

が届くのに 530 年かかるからです。つまり、星の輝きはすべて過去の光です。私たちは過去の光を見つめながら星座を探したり、その光に癒されたりしているのです。

さて、ベテルギウスが爆発してしまったら、オリオンの右肩の星が失われることになります。神話のように、オリオンがこん棒を振り上げて威張ることはなくなるかもしれません。みなさんは未来の空に、どんなオリオンの姿を描きますか?



ベテルギウスが超新星爆発をすると、昼間も見える明るさで数ヶ月間、光り続けると考えられている。

©HeNRyKu



①日付 ②月の出の時刻 ③月の入りの時刻 ④月齢

